



平塚ロータリークラブ 週報

Hiratsuka R.C. Weekly



ロータリーは
機会の扉を開く

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

会長：鳥山 優子 副会長：清水 雅広 幹事：江藤 博一 クラブ会報委員長：葛西 敬

例会日 毎週木曜日 12:15～13:30

会場 グランドホテル神奈中 2F

事務局 平塚市松風町 2-10 平塚商工会議所内

連絡先 0463-23-5955 (事務局)

2020年11月 5日 第 3283 回 週報第 3283 号

本日11月 5日	会員数 64名	対象者 62名	出席者 46(46)名	出席率 74.19%			
前々回10月 15日	会員数 64名	対象者 62名	出席者 48(47)名	出席率 76.20%	MUP 1名	計 49名	修正率 77.78%

本日の卓話者ご紹介

地区米山奨学・米山学友委員会
委員長 常盤卓嗣 会員



卓話

「米山月間によせて」

2780 地区 米山奨学・学友委員会
委員長常盤卓嗣

本日は平塚ロータリークラブの例会にお招きをいただきありがとうございます。ホームクラブということでいつもと少し違う気分ですが、宜しく願いいたします。私も2度目の地区米山委員長を指名いただき、各クラブや委員会の皆様にお世話になって色々な課題を乗り越えて学生と共にやってきました。ロータリーの友10月号の13ページにも又、月信にも久保田ガバナーの寄稿にもありますが、10月には米山月間ということで活動しております。

9月の当委員会においても米山奨学生の卓話のトレーニング、学友によるスピーチの手本を見させていただき、米山月間では多くのクラブからリクエストをいただき学生や委員会メンバーを派遣させていただきました。すでに皆様もご存知のようにロータリー米山記奨学会は、外国人留学生を支援する民間最大の組織です。2780地区では過去に630人、そして今年度は29名の学生を支援しています。又日本全国を見れば過去に129カ国、21,000人以上を支援してきました。この奨学金は返済する必要はありませんし、最大の特徴はカウンセラーが

共に寄り添って学生を支援してゆくという事です。

学生はクラブの例会や事業に参加する事が義務付けられています。本年はコロナという禍の中で学生とのコミュニケー

ションが取りづらく、予定していた事業も思うように出来ませんが1年を大切に活動してまいりたいと考えております。

又、本年は2年一度の米山世界大会も台北で開催される予定となっていますので、こちらにも委員会として参加していきます。平塚ロータリーも若いメンバーが増えて来ました。ロータリーを単なる親睦の場として捉えるのではなく、地区にも積極的に係わっていただき、ロータリーのスケールの大きさ又ロータリーでなければ関われない交流の場を是非経験していただきたいと思えます。そのためにクラブとしてしっかり研修の場を通じて意義付けも必要になって来たと感じています。



会長報告

先日、ある人にこう聞かれました。「鳥山さんは、なぜ寄附をされているんですか」正直、答えに詰まりました。なぜなら私は、寄付という行為に値するような、気高い理由をもっていなかったからです。

思えば、私が大学に行くときも、親が出してくれました。そして、経済的な理由で進学をあきらめることについても、気の毒だとか不憫だとか思うことは失礼なことだと思っています。しかし、一つだけ言えることがあります。それは、進学であれ、何であれ、経済的な心配がないということは、その人の人生の選択肢が増えるということです。そして寄付をすることによって、確実にその人の人生の選択肢を増やすことにつながります。

私には寄付をする気高い理由はないかもしれませんが。しかし自分がした寄付によって、誰かの人生の選択肢を増やしているということについては、強い誇りをもって

います。ほんの少しでもいいから誰かの役に立ちたい。誰かの人生の選択肢を増やしたい。気高い理由じゃなくても、人を思いやる気持ちがあれば、それでもいいのではないのでしょうか。

さて、このように話すと「気持ちだけあればそれでいいのか」と思われる方もいるかもしれません。すなわち「目標金額は達成しなくてもいいのか」そのように考える方もいるでしょう。しかしここではっきり申し上げます。目標は達成するためにある。気持ちがこもってさえいれば、目標金額を達成しなくていいというわけではありません。なぜなら、目標金額というのは、誰かの人生の選択肢を増やすという目的に沿って決められているからです。いいかえれば、目標金額に達して初めて誰かの人生の選択肢を増やすことができる。そのように考えていただければ、目標を達成することの大切さをお分かりいただけるでしょう。

ただ私は、目標が目的化することだけは避けたいです。自分のした寄付がどこに行くのか。誰が喜んでくれるのか。そうしたことを少しでも考えてほしい。「とりあえず払っておけばいいでしょ」という考えでした寄付と、「この寄付は誰かの選択肢を増やし、その人の人生を豊かにするかもしれない」という思いでした寄付は、まるで重みが違いますよね

大切なのは想いと行動のバランスです。行動で目標を達成し、想いで目的をかなえる。このバランスが保たれてこそ、初めて寄付という行為が成立するのではないのでしょうか。

だから私はこれからも、寄付の目的を考え、忘れないようにして、その目的をかなえるために目標を達成していきたい。そのために皆さんにも協力をしてもらいたい。このように考えています。

幹事報告

◎11月07日(土)14:00より、青少年交換オリエンテーションが開催されます。

カウンセラーの清水雅広会員が出席されます。

◎平塚市観光協会から2021版「湘南ひらつか観光写真カレンダー」のご案内がきております。

平塚の魅力伝える海、山、川、田園風景やイベント写真を掲載したカレンダーです。一本1,000円です。(20本以上ご購入の場合は1本800円です)ご希望の方は受付に申込書が置いてありますので、例会後にお申し込み下さい。

◎10月22日の吉野ガバナー補佐の卓話資料がHPにアップされています。

また、その日に欠席された方は本日受付に置いてありますので、受け取って下さい。

◎11月12日はガバナー公式訪問となります。

12:00に久保田ガバナー、吉野ガバナー補佐は例会場に来られます。

例会終了後にガバナーとの記念撮影があります。また、その後の懇談会は、入会5年未満に関係なく、お時間のある会員は出席をお願いいたします。多くのご参加をお願いします。

委員会報告

◎雑誌委員会 青山紀美代委員長

ロータリーの友11月号総合ページ8ページで、グローバル補助金の件、小牧RCと東京麴町RCが医療の支援で取り上げられています。18ページ、例会がコロナの影響でどのように開催されたかをアンケート調査した結果が出ております。また、会費についてもどのように活用したかの結果が出ています。34ページに電子版でロータリーの友が閲覧できますので、ご覧くださいと紹介されています。

◎プログラム委員会 元吉裕員委員長

本日の例会は地区米山奨学・米山学友委員会常盤委員長に卓話をお願いしています。来週は久保田ガバナーの公式訪問です。翌週の19日は社会保険労務士の遠山様の卓話を予定しています。26日は財団資金推進委員会 副委員長、相模原南RCから栗林様にお越し頂きます。



誕生日祝いと結婚記念日祝いが同日の志村会員



ロータリーの友11月号の紹介記事を発表する青山雑誌委員長

メイクアップ (MUP) 1名

常盤卓嗣会員

本日のスマイル 19名

ゲスト 0名

ビジター 0名

卓話・行事予定

11月12日(木) 久保田ガバナー公式訪問

市内例会変更 現在ございません。

